MONTHLY NEWS

KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

No.-450

シャガール展 2012 一愛の物語 一

き/10月3日(水)~11月25日(日) 10:00AM~6:00PM ところ/京都文化博物館(祝日以外の月曜と10/9休館) 京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

1887年、帝政ロシア領東部のヴィテブスク(現・ベラルーシ)に生まれたユダヤ系の画 家マルク・シャガール。妻を愛し、愛や結婚をテーマにした作品を多く残したことから、 「愛の画家」として知られています。

本展では、ロシアの国立トレチャコフ美術館、国立ロシア美術館の全面的な協力を得



「街の上で」1917年 (トレチャコフ美術館蔵)

て、色彩の詩人と呼ばれるシャガールによる愛の物語 をテーマにした作品群100点をご覧いただきます。とり わけ、モスクワのユダヤ劇場の壁面制作を任されたシャ ガールが取り組んだ幅8mの大画面壁画を含む一連の作 品群や、シャガールの代表作である《街の上で》(トレ チャコフ美術館)・《散歩》(ロシア美術館)などは必見 の作品と言えるでしょう。シャガールの華麗な色彩と詩 情あふれる豊かな世界を、存分にお楽しみください。



「散歩」1917-18年 (ロシア美術館蔵)

*毎週金曜日は19時30分まで夜間開室しています。(入室はそれぞれ30分前まで)

大エルミタージュ美術館展

と き/10月10日(水)~12月6日(木) 9:00AM~5:00PM ところ/京都市美術館(月曜休館) 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4107

"まさに、美の百科事典。世紀の傑作を京都で"

絵画はもちろん、装飾品や工芸品など約300万点もの作品を収蔵するエルミタージュ美術 館は、メトロポリタン美術館やルーヴル美術館などと並ぶ、世界で最も大きな美術館のひと つである。そのコレクションの歴史は古く、今から約250年前に女帝エカテリーナ2世が収 集をはじめ、ロシア帝国が威信をかけて集めた作品群からなる。それはまさにロシアという 大国によって編纂された「美の百科事典」ともいえる、人類の遺産でもある。

本展では、そのコレクションから各時代を代表する作家の秀作を紹介している。ティツィ アーノに代表される盛期ルネサンスのヴェネツィア派絵画から、17世紀フランドル美術を代 表するルーベンス、ヴァン・ダイクやオランダ絵画の巨匠レンブラント、そして19世紀ロマ ン派のドラクロワ、印象派のモネ、近代絵画の父セザンヌ、さらには20世紀のマティス、ピ カソらによる作品まで…。

本展を鑑賞することで400年にわたる西欧絵画の歴史を一挙にたどることができる。西欧 絵画史にきら星のごとく輝く巨匠たちの作品を通して、ヨーロッパ絵画の精髄を堪能できる。



ジョシュア・レイノルズ 「ウエヌスの帯を解くクピド」 1788年

会場	日曜	1 2	3	4 5 木 4	1 1 1 6	8 III	9	10 11 水 木	12 全	13 14 + (F)	15日	16 17 火 水	18 未	19 20 金 土	21	22 g	23 2 k 7	4 25 木	26 全	27 23 + E	8 29 i) 目	30 31 火 水	
会 場 曜 月 火 水 木 金 土 恒 月 火 水 木 金 土 (1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1											9 7 3	ボスター芸術	→12/24										
京都国立博 東山区東大路七条西 5														覧会(みつ									→11/25
	2F	近	衞家	王朝のみ	やび「陽明 京都府							り名宝 – 2 ~ 11/25								2 (10/	3~12	/2)	
÷ 1/17 r5	3F 4F	シャガール展2012 – 愛の物語												→11/25									
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	5F	2013年 度 琳派 百図原		市技 堺·バー ブリ 音	ークレー市 携45周年記 クレー国際 ッジ交流展 第29回 雲会書	!念 アート 2012			パワサーキル	由利子 ・ロークル - クル - ルト展 2012		20 A	周年i RK of	ーショ 記念展 ART			-	_ 京都/ 優秀技)名工 存伝統 統術者作	産業	-	ダウン症の 天才書家 金澤翔子 共に _ 生きる	11/7
	6F			/NHK文信	アトリエけい子 センター京編教室 同作品展							\$5400	二ア大学 学園文化 品展示会	第2回線 吉田手機工房 作品》	京都教室	F		精鋭書画 非書の際				第31回 京仏具 四人会師	$\rightarrow 11/2$
	別館				石川暢子 - その45年			2012年秋	くむす美	美展													

	会場		1月	2 3 人 水 :	4 5 木 金	6 士 田	8 用	9火	10 11 水 木	12 13 14 金 土 印	15 月	16 火	17 18 19 20 21 水 木 金 土 印	22 月	23 24 2 火 水 オ	5 26 27 28 全 土 日	3 29 3	30 31	
				-11-4			1			術館コレク							12.5	- 1	→11/
	京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107			再興第	97回院	展	大エルミ				タージュ美術館展 世紀の顔 西欧絵画の400年						→12/		
									第31回 汎具象展 第48回 主体展				新	制作	制作展 ——			第39回 訓画展	→11/
						3回 乍品展				第29回			第28回		新美20	012会員展		第26回 第26回 第芸術祭国際 交流総合展	→ 11/
										国際書展 関西展			文化書道 近畿連合会展		第25[第25回 国創展		関西春陽 会展2012	→11/
	京都府立	1F]	第40回 京水会丹青風		(洋画)]		42回 真家協会展		青	2012 F美秋季展(洋画)		7人の絵	人の絵画展 (洋画)		第28回 ハクの会 作家展	→11/
	文化芸術会館 河原町府立病院前	2F		京都現				第	17回 日	本画展 きら		第3	7回 實相展(洋画)		Et (人物画勉強	udu展 会有志展)(洋画)	(4 遊 (洋画)	→11/
	222–1046	3F			0)) 回みんな アトリエ /画作品展				第32回 草春会 能面展						第42回 萌翠会 書道展			
	京都府立堂本印象 北区平野上柳町26 4									京のう	つろ	۲٧	- 秋から冬へ-						→12/
	何必館・京都現代 東山区祇園町北側 5			,						ロニス			パリの日常 WILI /8以外の月曜休館		RONIS展				→11/
	髙 島 屋	画 廊	^{菅原さちよ} 展(日本画) 河井透 作陶展			政之展 (陶芸)				川﨑鈴彦展(日本画)			美の予感 – 20 陶・New Gener				通長左衛門展 陶芸) 作		
(£)	下京区河原町四条下ル 221-8811	グランド ホール	辻村寿 三郎			9回 しゅうほ	旻		日本	第59回 本伝統工芸原 京都展	į		京都新聞 チャリティー 美術作品展					リーチ展	→11/
	_ 大		. 画廊 百碗展						西洋アンティークフェ			- P	梅原宏夫・高橋	晶子	- きざし- 森小夜子人形展				→11/
(£)	中京区四条高倉 211-8111	6 階催 場				高木栄子					紙木	うらべ展				<u> </u>			
	中信美術	了 館 117-2323	三浦景生・以左子 展(月曜休館)																
	並河靖之七宝記 三条通北裏白川筋東	念館		秋季特別展「並河七宝の記憶」(月・木曜休館)												→ 12,			
	美術館「えき」K' JR京都伊勢丹7F 3	YOTO			開館15周年記念 輝ける皇妃 エリザベート展														
	会場	B 	1		4 5 木 金	6 7	7 8 9 10 11 12 13 14 15 国					16	17 18 19 20 21	22 H	22 23 24 25 26 27 28 29 30 月火水木金土圓月火				
(f)	アートギャラリ-	- 北野] A [3		山喬	水彩画			小 小	玉 工 旦	月月	八	<u> </u>	月	X X 1	五次	/ /月 : : 勝木周 (2 F)	火 <u>水</u> 『展	→ 11.
(T)	中京区三条河原町東入でアートスペー	ス虹	(1・2F) 新道牧人展 (月曜休廊)				いまふくふみよ展					倉田隆之展			岩村伸一展 (月曜休廊)				→ 11.
	三条蹴上都ホテル隣「アートスペース	東山		()] 14		※井貞夫							黒川彰夫個展			で	ŧ	製田一 郭個展	→ 11.
	東山区三条神宮道東入 アートギャラリー	博宝堂				():	1曜位	[V/K]							「居心地の	いい言葉たち。」	I	中凹灰	
<u>^</u>	左京区岡崎神宮道東側 「 イムラ・アート・ギャ	ラリー		- 篆刻と額縁のコラボ展 -											→ 11.				
	左京区丸太町川端東入 一 心 堂 画		2																
	中京区烏丸通六角下ル 2 芸 艸 堂 匪 中京区寺町二条下ル 2	廊	3 - あるいてきた道																
	絵 草 東山区新門前通東山西 5	子 551-9137									乍	常設」	展						
@	延寿堂ギャラリーソ 中京区二条寺町東入 2	フォラ	松谷文陶展							水野幸一×	みす	i の a	みさ 陶×ガラス展	(仮	反称)				
	御 池 画 北区小山上総町20-2 4	廊	洋画	 ・日本画で 日祝休康			荒	瀬隆	造油彩画展 洋画・日本画常設展 (日祝休廊)										
	カギムラロ	画 廊 221-2996	常設展 秋野不矩・浅野 均・川端健生																
	画廊おか	ざ き 761-0027								現任	江芝	告作》	家常設展						
	画 廊 き よ d 東山区清水五条坂 5	みず									日本	画常	·設展						
£	画 廊 後 素 中京区新町丸太町下ル 2	堂			小市		€- 肩 期中:		.) .)	-									

「目の中の目」 西村一成 個展 ところ/ギャルリー宮脇 (月曜定体)

と き/9月28日(金)~10月14日(日) 1:00PM~7:00PM ところ/ギャルリー宮脇 (月曜定休)

京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

メノナカノメノナカノメノナカノ…目の中で夢幻が無限に反射するイッセイニシムラの絵画世界。

1978年生まれ、愛知県在住の画家・西村一成(イッセイ)の新作発表。少年期から美術と音楽の才に長けた作者は、2000年頃より独学でデッサンと油絵の創作に没頭。池田満寿夫記念芸術賞、青木繁記念大賞展、シェル美術賞(以上07年)、リキテックスピエンナーレ(08年)、トーキョーワンダーウォール公募(09年)、あいちアーツ・チャレンジ(12年)など、絵画公募展で入選入賞を重ねてきた。

自己の切迫した生の深淵をキャンバスに投影させるイッセイは、創造のチャンスを逃さず、表現の本質をつかみ取る才能豊かなセルフトート・アーティストである。昨年6月につづく当画廊で二回目の個展。

ギャラリーイベン先行情報 / 11月4日(日) 午後2時半~ 『深い闇の奥底』フランソワ・ビュルラン展記念特別イベント 対談・鈴木創士 (フランス文学者) × 朝吹真理子 (芥川賞作家) 予約先着順・有料1,000円です。お電話にてお申し込み下さい。



「無題」91x65cm アクリルなど



「無題」91×52cm アクリルなど

特別企画展 京のうつろい — 秋から冬へ —

と き/10月2日(火)~12月9日(日) 9:30AM~5:00PM ところ/堂本印象美術館(祝日以外の月曜と10/9休館) 京都市北区平の上柳町26-3 ☎075-463-0007

山や川の清々しさ、木々の合間に漂う情趣をはじめ、由緒ある寺院や人々の生活にまつわる日常風景や祭事など、京都には四季を通して様々な魅力的なシーンが数多く存在します。こうした美しい自然や歴史的な文化に恵まれた京都の佇まいは、多くの人々に愛でられ、そして絵画、スケッチ、写真といった表現の対象とされてきました。

京都府では、こうした京都の美しい景観や文化を広く紹介し、後世に伝えるため、京都ゆかりの作家によって描かれた絵画群である「京の百景」(昭和48年)、「京の四季」(昭和61年)を制作しました。「京の百景」は、京都の景観や古く伝えられてきた行事・風俗などを題材にした日本画作品が集められました。一方「京の四季」は、日本画だけでなく洋画も交えた多彩な表現で京都の春夏秋冬の見所が描かれた作品群です。

本展では、「京の百景」、「京の四季」それぞれのシリーズを中心に府所蔵品から、秋と冬の景色に想いを寄せた作家41人の作品を展観します。木々が紅く色づく秋の風情、雪景色の冴えた空気感などには、春や夏の華やかな賑わいとはひと味異なる京都の深い美意識が表れています。本展を機に、京都におけるこの季節の新たな魅力を感じ取って頂ければ幸いです。



麻田浩「北山杉」1986年



秋野不矩「初冬」1981年



曲子光男「錦秋(瑠璃渓鳴瀑)」1986年

桜井貞夫銅版画新作展

と き/10月2日(火)~14日(日) 11:00AM~6:00PM ところ/アートスペース東山(月曜休廊・日曜5:00PMまで) 京都市東山区三条通神宮道東入 ☎075-751-1830

当ギャラリーでの、2年ぶり2度目の新作展です。大学ご退職後、ますます 創作意欲に高まりを見せている、桜井貞夫氏の独創的な銅版画の世界をご高覧 下さい。

今回発表される作品は、カッパドキアの奇岩群をモチーフに、近年続けている創作コンセプト "Réminiscence" (過去の経験の非意図的な想起) による色彩銅版画20点余りです。

(アートスペース東山 梅戸 徹)

Réminiscence '11-4 フォトエッチング・ アクアチント ed.10 42.4×60.6cm



Réminiscence '11-5 フォトエッチング・ アクアチント ed.10 42.4×60.6cm

〈主な受賞歴〉

1988 第6回ソウル国際版画ビエンナーレ;大賞

1993 第8回ウッジ国際ミニプリント;名誉メダル賞

1994 平成6年度優秀美術作品として文化庁買上

2006 第1回ウクライナ国際現代美術コンクール: 賞候補

2008 第38回カダケス国際ミニプリント;大賞

〈主な作品収蔵先〉

文化庁、国立国際美術館、京都国立近代美術館、大阪府 カサ・ディエゴ・リベラ美術館/メキシコ、ポーランド国立美術コレクション 国立スロバキア美術館、ニューサウスウエールズ州立美術館/オーストラリア ほか

漆・うるわしの響宴展 世界の女性作家による漆表現の現在

と き/10月6日(土)~10月21日(日) 11:00AM~7:00PM ところ/京都市立芸術大学ギャラリーアクア(10/9休館) 京都市中京区御池通堀川東入ル ☎075-334-2204

漆は、アジア独特の天然工芸素材です。日本は、中国・韓国・東南アジアの国々、そして江戸時代にはヨーロッパ諸国との交易にて、漆を通した友好・芸術・文化の交流を培ってきました。この交流を21世紀にさらに深め、各国の芸術文化の真の姿を理解していくことを目的とし、日本・中国・韓国・東南アジア・ヨーロッパ・アメリカの女性漆工芸作家32名による展覧会を、東京、京都、福島にて開催します。

漆工芸は装身具や化粧用具として女性に身近な工芸です。女性の漆作家をクローズアップすることで、今までの表現とは異なる新しい表現の漆作品を見出す可能性があると考えています。それぞれ環境や情勢の異なる国に生きる女性漆作家が、漆をどうとらえ、この時代をどう見つめているのか、新しい漆表現の挑戦と交錯を試みる取り組みとなります。作品展示の他に、世界各国の女性漆作家の斬新な考えや取組みを、広く一般の方々に伝えるために、シンポジウム、ワークショップ、パフォーマンスを実施し、現代漆工芸の普及と交流活動を企画しています。特に地球環境と漆についてシンポジウムを通し、震災後、日本そして世界がどのような道を歩むべきか、「漆になにができるか」女性漆作家の視点から漆を通した地球環境問題を考えていきたいと思います。当展覧会における現代漆工芸の普及と漆工芸を通した国際交流活



Sha Sha Higby(アメリカ) 「乾漆面とコスチューム」



笹井史恵 (日本) 「ビブラド」

動は、多様な漆表現の素晴らしさを伝えるとともに、このような壊滅的な漆の一次産業をもり立てていく一助となり、広くこれからも守り伝えていく大切さを発信していきます。日本と各国の作家が手と手を取りあい交流を行うことで、世界の良き点を理解し、日本の素晴らしさを伝える場を提供できると考えています。そして、福島展(喜多方市)の開催によって、東北大震災に被災された方々への応援・支援を世界各国に伝えていきたいと思っております。

シンポジウム 10月6日(土)13:30~14:45 「女性漆作家の視点から漆造形を考える-2 ~漆工芸の特性と表現/漆に何ができるか」



Shim Hyouen(韓国) 「漆と繊維による立体造形」

川村悦子 個展「草木繁るところ」ところ/イムラアートギャラリー京都(日・月休廊)

と き/10月5日(金)~11月10日(土) 11:00AM~7:00PM ところ/イムラアートギャラリー京都(日・月休廊) 京都市左京区丸太町川端東入東丸太町31 ☎075-761-7372

イムラアートギャラリー京都では10月5日より川村悦子個展「草木繁るところ」を開催致します。現在京都造形芸術大学教授を務める川村悦子の約4年ぶりの個展となります。

自然とひたむきに向き合い、「見る」ことを通して植物の力強さと儚さを描き続ける川村悦子。今回の展覧会では、私たちの日常の中でひっそりと、しかし力強く存在する草花の姿を描きます。デフォルメや抽象化を用いず、目の前の対象を確かめるように見つめ続ける彼女の制作過程を通し現れる草花は、私たちに薄れていく記憶を思い起こさせるように、静かな物語を感じさせます。

生命を見つめる洞察力と卓越した描写力により生まれる川村悦子の情緒豊かな造形世界を是非ご高覧ください。

展覧会初日のオープニングレセプションでは、関西日仏学館主催「ニュイ・ブランシュ」※にちなみ、フランス・バカラ社のアンティークグラスでシャンパンをお

楽しみいただきます。作品を前に作家と共に楽しい夜のひと時をお過ごしください。

※ニュイ・ブランシュ KYOTO2012~パリ百 夜祭への架け橋~一現代アートと過ごす夜一

※ニュイ・ブランシュ KYOTO2012~パリ百 夜祭への架け橋~一現代アートと過ごす夜一 ニュイ・ブランシュとはパリ市が毎年10月に行 うアートイベント。街の至る所で現代アートを楽しむことが出来るこの祭典をパリ市の姉妹都市・京都でも昨年より開催。



「木陰



「道」

オープニングレセプション×関西日仏学館主催「ニュイ・ブランシュ」 10月5日(金) 6:00PM~10:00PM

「蔓草」

三桝正典展「時~音」春夏秋冬

と き/9月16日(日)~10月14日(日) 10:30AM~6:00PM ところ/ギャラリー白川(月曜休廊)(東山安井信号東入ル南下ル) 京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

広島市在住の造形作家・三桝正典が、広島県呉市下蒲刈の「蘭島閣美術館」の企画で、「蒲刈の四季」をテーマに、隣接する江戸時代に建てられた「白雪楼」の内部のふすまや掛け軸約20点を手掛け、7月

11日~9月11日までの2ヶ月間「白雪楼」に展示されました。今展は、これらの作品を京都のギャラリー白川の空間で新たに再構成してご覧いただくものです。 ふすま絵や掛け軸といった伝統と現代をアートで紡ぐことにより新たに生まれる

空間芸術を、ギャラリー白川の画廊空間でお楽しみいただけたらと思います。なお、「白雪楼」は、江戸時代、京都黒谷に建てられていた茶室「奇好亭」で、現在は、「蘭島閣美術館」の別館として移築・公開されており、京都に所縁の建物です。



画廊内展示風景



「秋」2012 和紙にアクリル 47×49cm(本画)



「春」2012 和紙にアクリル 80×29cm(本画)

◆斉藤祝子展 ―『共振する小宇宙』10月23日 (火) ~ 11月11日 (日)

今までテーマにしてきた『種』は、大宇宙に対する小宇宙である私たち人間をもっと凝縮させた小宇宙のように思われます。今回は、この『種』シリーズの新作に加えて、前回発表した武満徹の『精霊の庭』に引き続き、今展では、新作『夢窓』を展示します。武満作品の『夢窓』は京都の庭を主題とする曲です。庭は私たちに一番親しみのある小宇宙かもしれません。(斉藤)

ベルリン芸術大学大学院卒。ドイツのアートセラピスト国家資格取得。ドイツ、カナダ、日本で作家活動。現在、カナダ在住。

荒瀬隆造展

と き $/10月6日(土)\sim 10月14日(日) 11:00\sim 6:00PM$ ところ/ 御池画廊(最終日 $\sim 17:30$)

京都市北区小山北上総町20-2 ☎075-492-3083

荒瀬降告

日常の光の中の不可思議や無常そして喜びを絵画の中に描くよう努めて参りました。皆さまの心に触れることができればと願っております。油彩による静物画、風景画を展示いたします。ご高覧くだされば幸いに存じます。

荒瀬隆造 略歴 ARASE RYUZO

 1958年
 広島県三次市に生まれる

 1977年
 伊庭洋画研究所にて学ぶ

 1982年
 京都市立芸術大学美術学部卒業

1982-83年 大徳寺絵画研究所 (青木敏郎氏主宰) にて学ぶ

1983, 85, 87, 89年 東京セントラル油絵大賞展入選 1986-2012年 反核・平和のための小品展出品

1990, 91年 BAO芸術祭参加

2000-07, 09, 10, 12年 個展(東急東横浜店美術サロン)

2011年 二人展 (三良坂平和美術館・三次市)



「青い模様の皿と葡萄」6F

特別展覧会 宸翰天皇の書

御手が織りなす至高の美

とである。

歴代の天皇は自らの手で多くの作品を遺している。とりわけ、天皇の書は「宸翰」と呼ばれ。プライベートなものから、国家の安泰を願うものまで、実にバラエティー豊かである。いずれもが帝王としての気品と風格を備えており、まさに「書の王者」といっても過言ではない。世の中に宸翰と伝えられるものは驚くほどたくさんあるが、本展では、奈良から昭和時代までの紛うことなき宸翰、140点近くが一堂にまみえる。これほどの規模で作品が揃う事はかつてないこ

書は「読む」ものであると同時に、筆の運び方や紙の使い方といった造形的な美しさなどを「見て感じる」ものでもある。とりわけ後者には、自筆であるゆえの個性、一つ一つの文字に見え隠れする喜怒哀楽の感情、すなわちホンモノだけが持つ魅力に溢れている。この機会に「書の王者」が放つ目映いばかり

のオーラを身近に感じて頂きたい。

と き/10月13日(土) \sim 11月25日(日) 9:30AM \sim 6:00PM ところ/京都国立博物館(月曜休館)

京都市東山区東大路七条 ☎075-541-1151



国宝 「文覚四十五箇条起請文」 奥書後白河天皇宸翰 平安時代 元暦二年(1185)(京都・神護寺蔵)



重文 「花園天皇宸翰置文」 南北朝時代 貞和三年(1347)(京都・妙心寺蔵)



重文 「後醍醐天皇宸翰消息」 鎌倉時代 元徳元年(1329)(京都国立博物館蔵)

	会 場 曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 月火水木金土间用火水木金土间用火水木金土间用火水												
(fr)	画 廊 彩 雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468	常設展(土・日・祭日休廊)												
	画 廊 た づ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展												
(F)	画 廊 ビ ー ナ ス 三条大橋東一筋目上ル東 771-3104	風画展		秋の才	亡と	静物	秋景展(日曜休	廊) 一	→ 11/3					
	ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	茶陶展 (下大路閑人 田中誠孝)			辻帽子教室 作品展		洋服とアク セサリー 廣瀬光美	→ 11/1					
P 	ギャラリー青い風 左京区岡崎神宮道東側 752-0182	臨時休廊				0周年記念 洋画)(月曜休廊)	青砥会展(日本画)	長谷川	→ 11/4					
(F)	ギャラリーいちかわ 下京区河原町松原上ル 351-7267			貸画	i廊	予約受付中		(11)-17						
P (£)	ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979		ィア 本祐	を描く展		八尾の風の	D盆と立山を描く展 松本祐佳)							
P (£)	ギャラリー押小路 中京区押小路間之町東入 212-8345	'		I	常	字設展								
貸)	ギャラリーカト IF	アノニム洋画展		昭和美術会 京都支部小品展		四季彩会展	遊々窯作品展	月燿会展						
企 賃	中京区寺町御池下ル 231-7813 2F ギャラリーかもがわ	次回展準備			广内	燦の会展	おいー	友彩会展 常常 中本 自核 市本 自核 市本 自核 市本 自核 市本 自核 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	→11/4 →11/1					
	上京区堀川出水西入 432-3558 ギャラリー河原町	社展	(染料・顔料・油彩画)(火曜休廊) 院展日本画常設展(貸画廊受付中)											
	中京区河原町二条上ル 231-6249ギャラリー祇園小舎	横田尚子 糸展		やすらぎの時展 日本画とちぎり絵	л на	染めと織り	紙で描く夢							
愛	東山区四条通縄手東入 551-3828 ギャラリー吉象堂	第30回街道展		山本信裕・東美 第8回いのばんば展		建野佳子個展	藤原公夫 切り絵展 同志社大学	グループ	→ 11/-					
	中京区三条柳馬場東221-3955ギャラリー恵風1F	川端千絵展		(日本電池OB絵画) 岸 雪絵展			スケッチクラブOB展	10T 10T	→ 11/					
P	左京区丸太町東大路東入 771-1011 2F ギャラリー佐野	高田侑以子展	目良真弓展 九州「日田」			大高亨展	鶴田憲次展	FV189: -Archite 46.	→ 11/					
(F)	中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	1 9 9 4 5 6 7	木工二人展			第2回はっは〜ん版展 (版画他)	00 00 04 05 06 07 00	板画院 一 近畿支部展	→ 11/					
	日会場 曜				月	火水木金土田	22 23 24 25 26 27 28 月火水木金土田							
	中京区寺町通御池上ル 221-6401	京都で出会。		赤瀬ミフサ~	赤瀬ミフサ展 (12:00~18:00) (土日祝は要予約)									
	ぎゃらりい思文閣 東山区古門前大和大路東 761-0001				日・祝休廊)									
	ギャラリー白川 東山安井東-筋目南 532-2616	三桝正典展「時	~音			111 111 - 114	斉藤祝子展 「共振する小字'	曲」	→ 11/					
(F)	ギャラリー 翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	第11回アトリエ洛展 (ハガキ絵、油彩画他)	布引焼ファミリー展 (器、アクセサリー等陶作品)			川端英一御器楽音陶展	游季会 日本画三人展	タッグ マッチ _{中島}	→ 11/-					
登金	ギャラリー16 東山区三条瀬白川橋西入上ル 751-9238	藤原勝彦展(映像インスタレー	ショ	- 痕跡 - ン)(月曜休廊)		(古本を使ったイン	zle - (月曜休廊) スタレーション)	(平面)	→ 11/					
	ギャラリー 創 中京区河原町御池上ル 251-0522		I	鴨居玲・熊谷守一・松本		常設展 介・伊藤若冲・白隠・円	山応挙							
E	ギャラリー象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738				貸	ギャラリー受付中) 	萩原征弥 + Belne京都展							
E	ギャラリー高倉通 中京区高倉姉小路下ル 221-3390			もくの会 第5回日本画とデッサン展		With the change of	秋原催奶+Delne京和展 幻想神話の世界Ⅲ ・・・・天の祭り地の祀り・・・							
(E)	ギャラリー Little House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	岡村澄	蒼書	展		猫の宴2012 猫の音楽会	前田見知子個展							
(£)	ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164				常設展 18・19・28・29日休廊)									
企賃	ギャラリー知(とも) 中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160	秋山 - 闘う君よ、それ	淳しでも	個展 6世界は美しい-			→ 11/							
	ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632	井上よう子展 (月曜休廊)			吉原英里展(月曜代	木廊)		→ 11/						
企賃	ギャラリー中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253	日月会		創元会京都支部展			京都アソシエイツ	杉浦 康司展	→ 11/					
(fr)	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427			白崎信子	ガ	ラス作品 常設展								
登金	ギャラリーヒルゲート 1F 中京区寺町三条上ル 231-3702 2F	赤坂孝史展 街の景色 角りわこ展(陶)		池端邦輔油彩展 角りわこ展(陶)		畑田夕加子展(油) 竹本千明(木版)	田中孝·曽根孝子·西野理三 高月紘一展 – 俳夢雲 –		→ 11/-					
	ギャラリー美楽堂	月リルン (阿)			本	画常設展	四月版 灰 州罗云	テル展						
•••	東山区神宮道三条上ル 761-9710													

												_	
	会場曜	1 2 3 4 5 6 7 月 火 水 木 金 土 印	891	0 11 12 13 14 1 水 木 金 土 田 月	5 16 17	7 18 19 20 土 金 土	21 22 D B	23 24 2 火 水	25 26 27 2 木 金 土 (28 29	30 31 火 水		
	. 3F			<u> </u>				<u> </u>	<u> </u>	<u></u> 月	八 八 八 八 八 八 八 八 八	11/4	
P A	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 4F	渡部慶二郎展 (金属)	1	5 12 (10)(1)		3造形芸術大学 上展(日本画)	·		と(平面・立作	本)	今 ~ TOKI ~展	→11/4	
00	221-0117 5F	久世建二展 (陶立体)	U·	S・E展(彫刻)		羽毛田優子	 展(染á				日本画の試み展	→11/4	
(ギャラリーみすや	花のアトリエ展		金曜会		髙友会		71. 4	きわりの会		スコーネ	→11/4	
	中京区三条河原町西入 211-5997	祖のケーケール	£1. 1H-			同次五					クラブ 長谷川淑子		
企賃	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	風間紀子(オリジナルウェア)		·展(月曜休廊) マニス(服)/IZOOMI	(フェルト	バック・セーター	-)		曽田政江 そのArt Life			→11/11	
	ギャラリー洛中洛外	阵	防 世										
	世科区清水焼団地内 595-5450 ギャラリー 龍馬	門式IF印 市収扱小 陶器まつり 門式IF印 市収扱小											
企賃	河原町三条下ル東入 211-7700	龍馬と酢屋 常設展(11:00 ~ 17:00水曜休廊)]	
	ギャルリー正観堂	小山智徳 織部展 (水曜休廊)		常設原	夏(水曜	木廊)			伊藤原	是二陶月 星休廊)		→11/6	
	東山区切通新門前上ル 533-4110 ギャルリー宮脇	「目の中の目」	西村一成	個展					フランソ			11/10	
	中京区寺町二条上ル 231-2321		休廊)							層の奥		→11/18	
@	ギャルリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138		アンラ	ティークマイセン&: (15日・2			洋画版	画展					
	ギャリエ _{1号館} 1F	水墨画同 墨翠会水墨画 好会展 展	グル	レープサイファ書作展	第27回	土筆の会展(日本国	ij)	ジョイ展(油絵・色エンビ	ツ)	氷期への 旅	→11/4	
(貸)	ヤマシタ		木	下版画 秋の作品展 (雅堂会)	金明		:	睦会 边	透明水彩画作品展		同志社大 学OB展	→11/4	
•	中京区寺町三条上ル 2 3 1 - 6 5 0 5 2号館 2F				ク	志社大学美術部 ラマ画会 後期展		藤本光造70	歳展色鉛筆画·篆	刻)	小栗栖好子 水彩画展 水彩画 仲間展	→11/4 →11/4	
æ 🔊	京都ギャラリー			A* 1.º .	- ,,	5 / I -L-					仲間展	11/4	
登金	中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中											
	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	加地舞展(陶器) 〈会館 2 F展示場〉											
	京都東急ホテルギャラリーkazahana	西嶋勝之 作品展			水森亜土			松永	恵子展	- 11/14			
(IE)	下京区堀川通五条下ル 341-2646					.1 F 111 /155	Le -	日敏男	山の原画展	44八		11/14	
登金	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	万華鏡ファン		保事協フォトク 第9回写真展(15	第9回写真展(15日休館)								
(1) (2)	京町家ギャラリー桂風			常設展(貸ギュ	ラリー	申込み受付中)							
♥	下京区仏光寺高倉東 361-4146	1 2 3 4 5 6 7	8 9 1	0 11 12 13 14 1			21 22	23 24	25 26 27 3	28 29	30 31		
	会場曜	月火水木金土田)	水木金土圓月	火水	木金土	11月	火水	木金土	11月	火水	ļ	
	京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 334-2204		漆・うるわしの饗宴展(10/9と10/15休館) (世界の女性作家による漆表現の現在)										
	COHJU contemporary art 1F		(11)	富永敦也展 - 7			計					-	
(IE)	中京区丸太町寺町西 256-4707 2F				ne man	IIIg (万曜水)	(B)						
貸企	堺 町 画 原 中京区堺町御池下ル 213–3636	与座英信個展 森の時間 山田史生 油画展 大黒浩子展 「猫がいる日常」									與倉玲 展	→11/4	
(貸)	里 見 有 清 堂		貸画廊受付中										
	中京区堺町三条上ル 221-5423 蔵 丘 洞 画 廊					·							
	中京区御池寺町東入 255-2232	今井麗展(会期中無休) 常設展(日曜休廊)											
	大 雅 堂 東大路通祗園上ル 541-7388	常設展(コンセプチ	ュアルリン !休廊)	ズムアート)		·g·o 0030 展(会期中無f		設展(コ	ンセプチュアル		アート)		
	梅軒画廊	(11)	211 (24)	 日本画・洋画常					(H Derrive	<u>'</u>		1	
(IE)	中京区烏丸四条上ル 221-3510				政 校(口								
企賃	ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7519		する犬猫店 美子遊墨画				きあう: ・片山?	土と漆 催美二人	展		清水信行 日本画展	→11/11	
	星 野 画 廊	伊藤快彦遺作展	廊	明治	・大正	・昭和 名作者	を掘品 届	要 (月曜1	沐 廊)				
	東山区神宮道三条上ル 771-3670 松 本 松 栄 堂	(月曜休廊)											
	中京区寺町夷川上ル 212-0626			新古書画常設原	展示(16	日・月末休廊)							
	MAEDAHIROMI ART GALLERY				常設展								
<i>∞</i>	中京区河原町二条上ル 741-8757 村 田 画 廊												
	左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	$(10:00 \sim 18:00)$									石井麻子		
P (1)	山 総 美 術 山 総 岡崎神宮道西側 751-6333 シュマン	濱口公佑 大皿10×10展		キムラ・リサブロー展					常設展				
(貸)	ヤマモトギャラリー	7,4111277.10/j2			古474	· ·学美術部新人	展				アート	→11/3	
	中京区姉小路寺町東入 231-2341				水郁ブ	一大州市和八	放						
(f)	龍 枝 堂 画 廊		貸画廊申込み受付中										

発行:京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手許に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。 http://www.kyoto-art.net/